

【待機場所について】

《美浜》競技場外周フェンス外側沿いを通行の妨げにならないように使用してください。

《瑞穂》スタジアム3階コンコースを使用できる。通路・点字ブロックを空けて使用してください。

《北陸上競技場》北側フェンス外側の植え込み。（**競技場フェンス側のみ使用可**）

南側フェンス外側の植え込み。スタンド西外側。（通路は確保してください）

競技注意事項

1 本大会は2026年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施します。

2 アスリートビブスについて

(1) 本年度の登録番号をユニフォームの胸、背に確実につけてください。

跳躍種目は、背または胸につけるだけでも構いません。

(2) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を配付します。ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさで明確に数字が読めるようにつけてください。

(3) 腰ナンバー標識はフィニッシュ後、直ちに係（フィニッシュ前方スタンド側）に返却してください。

3 ウォーミングアップについて

《美浜》

・ウォーミングアップとして運動公園内の通路や芝生を使用しても良い。ただし、一般の利用者の通行などの妨げにならないように注意すること。また、競技に支障の無い範囲で、競技役員の指示にしたがい陸上競技場内のバックストレート付近を使用してもよい。

・競技開始15分前まで、練習の各ハードルの置き方は以下の通りとします。

400mH 5～6レーンを女子用、7～8レーンを男子用

《瑞穂》

・ウォーミングアップ場は、レクリエーション広場・北陸上競技場とします。

最終種目の招集開始時刻まで使用できる。

・北陸上競技場は、基本バックストレートを競技に支障のない範囲で使用できる。なお、投てき競技を行う際は、レーン等の規制があるので、競技役員の指示に従ってください。

・**地下駐車場・野球場軒下・北競技場西側通路・北競技場北側・山崎川沿いの遊歩道でのウォーミングアップは禁止です。**

・競技開始15分前まで、練習の各ハードルの置き方は以下の通りとします。

6レーン女子100mYH、7レーン女子100mH、

8レーン共通男子110mJH、9レーン男子110mH

《共通》

・フィールド種目の練習は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。競技場外の投てき練習は厳禁とする。

・大会準備のため、**最初のトラック競技開始15分前に一旦すべての練習を中止してください。**

・競技場には練習用具（牽引用チューブやミニハードル等）の持ち込み・使用を禁止します。

・レース前のスタート練習については、係の指示に従ってください。

4 招集について

(1) 招集所

《美浜》100mスタート付近に設ける。すべての種目の招集をこの場所で行います。

《瑞穂》招集所は第4コーナースタンド下に設ける。投てき種目以外のすべての種目の招集をこの場所で行います。投てき種目については、種目は現地で招集を行います。

(2) 招集の受付は本人が行ってください。時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めません。

(3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準として、次のとおりとします。

	種 目	招集開始	招集完了
トラック競技	すべての種目	30分前	20分前
フィールド競技	棒高跳び以外の種目	50分前	40分前
	棒高跳	70分前	60分前

(4) 特別の事由がある場合、招集開始時刻前の招集を認めますので競技者係主任（招集所）へ事前に申し出てください。

(5) リレーのオーダー用紙は、すべて**1組目の招集完了時刻の1時間前までに招集所へ提出してください。**

5 競技場への入退場について

(1) 入退場は各会場ともに競技役員の指示に従ってください。

《美浜》 西側（駅側）または東側のゲートより入場する。

《瑞穂スタジアム》 第4ゲートから入退場を行う。

《北陸上競技場》南側ゲートのみとします。（スタンド下、正面入り口は使用禁止）

(2) 各会場とも、引率者・監督・マネージャー・保護者はスタンドのみ入場可能です。

6 レーン順・試技順について

(1)トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示します。

(2) 欠場者のレーンは100m～400mの距離の種目では空けます。その他の種目については競技役員の指示に従ってください。

7 競技について

(1)トラック競技

①この大会のスタートは競技規則TR16によって実施します。

②判定はすべて写真判定装置を使用します。

③コンディションにより、100mについてはバックストレートで実施する場合があります。

競技開始の約2時間前をめどに関係役員が協議をして、実施の有無を決定します。

左手から順にレーン1とします。（TR17. 1）

④短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられた曲走路のレーンを走ってください。

⑤リレーのユニフォームについては、ユニフォームの形状を統一する必要はない。

ただし、デザイン・配色（マーク）は統一すること。〔TR5. 1〕国内

⑥以下の時間に**最終周回に入らない場合は競技を打ち切ります。**

男子3000m13分、女子3000m15分

(2)フィールド競技

長さを競う種目はすべて3回試技とします。

①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従ってください。

②投てき競技の計測は、原則、光波測定器を使用します。

③フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができます。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できます。

④三段跳の踏切板は、男子10m、女子8m・10m（招集時に申告する）で行います。

(3) 競技者は、勝手に競技場所を離れることや競技規則TR6. 3. 2で禁止されたビデオ装置・ラジオ・CDプレイヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することができません。

(4) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外されます。

警告は黄色のカード、除外は赤色のカードを示すことによって競技者に知らされます。

8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

（ただし、天候等の状況により変更する場合があります。）

	練習A	練習B	1	2	3	4	5	6	
男子走高跳	1m40 1m80	1m65	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m85までは5cm、以後3cm
男子棒高跳			4m20	4m40	4m60	4m80	4m90	5m00	以後10cm
女子走高跳	1m25 1m60	1m45	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m65までは5cm、以後3cm
女子棒高跳			2m00	2m20	2m40	2m60	2m80	3m00	以後10cm

※練習はいずれかの希望する高さで行うことができます。

9 競技用器具について

競技に使用する器具は主催者が用意したのものを使用しなければなりません。ただし、やりについては、競技場に無いもの、もしくは1つしかない物の場合は持ち込みを認めますので、希望者は各競技の招集開始時刻の1時間前から招集開始時刻までの間に南側器具庫（フィニッシュライン付近）でやりの検査を受けてください。検査に合格したやりは、預かり証を発行の上、一括借り上げし、参加競技者間で共有でき

るものとしてします。

10 競技用靴について（TR5参照）

スパイクの長さは9mm以内とします。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とします。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければなりません。なお、スパイクの数は11本以内です。

規定に合致しない靴は使用出来ませんのでご注意ください。使用した場合は失格となります。

2026年4月10日より、サークルから行われる投てき種目（砲丸投、円盤投、ハンマー投）は、競技用靴に関する規程の適用対象外になりました。

※競技規則TR5シューズに関するルールによって、靴底の厚さが20mmを超えるシューズは使用不可です。
※靴底の厚さが適正であるかは、承認シューズリスト (<https://certcheck.worldathletics.org>) で確認をしてください

い



11 一般的注意事項

- (1) 本大会はコンピュータを活用して競技会運営を行いますので、氏名・所属等の間違いがあれば本部に申し出てください。
- (2) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにしてください。更衣後の荷物は各自で管理してください。
- (3) 貴重品類は、各自で保管してください。万一の事故があっても、責任は負いません。盗難には十分に注意してください。
- (4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室において処置が受けられます。なお、応急処置後の治療は、本人負担とします。
- (5) 本競技会の結果は、記録速報のほかリザルトが公表されます。結果には、順位・記録のほか選手の氏名・所属・学年を含みます。
- (6) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任を持って行い、環境美化に努めてください。

愛知陸協強化委員会医事部会が、競技者のコンディショニングと応急処置に当たっています。けがの治療だけでなく相談業務も受け付けていますので、積極的に医務室をご利用ください。なお、テーピング用のテープは利用者が持参してください。

◆競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について以下の点にご協力ください◆

- ※ 保護者および本人の了承がない撮影を禁止します。
- ※ 撮影禁止エリアは下記のとおりです。
 - ◎ 各種目のスタート後方
 - ◎ 走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳の助走後方と着地前方
 - ◎ 走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）
- ※ 選手がスターティングブロックの足合わせを行っている間や試技を待っている間、身体を動かしている間など競技の準備を行っているときの撮影を禁止します。
- ※ 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断した場合は、速やかに警察及び関係機関に連絡します